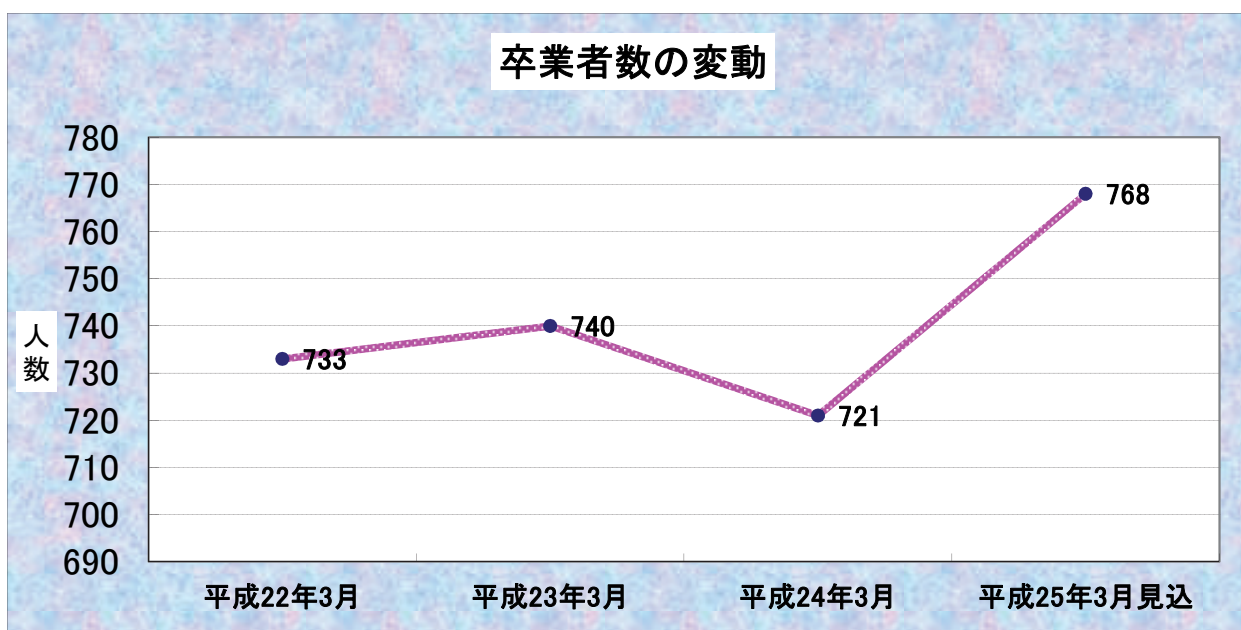
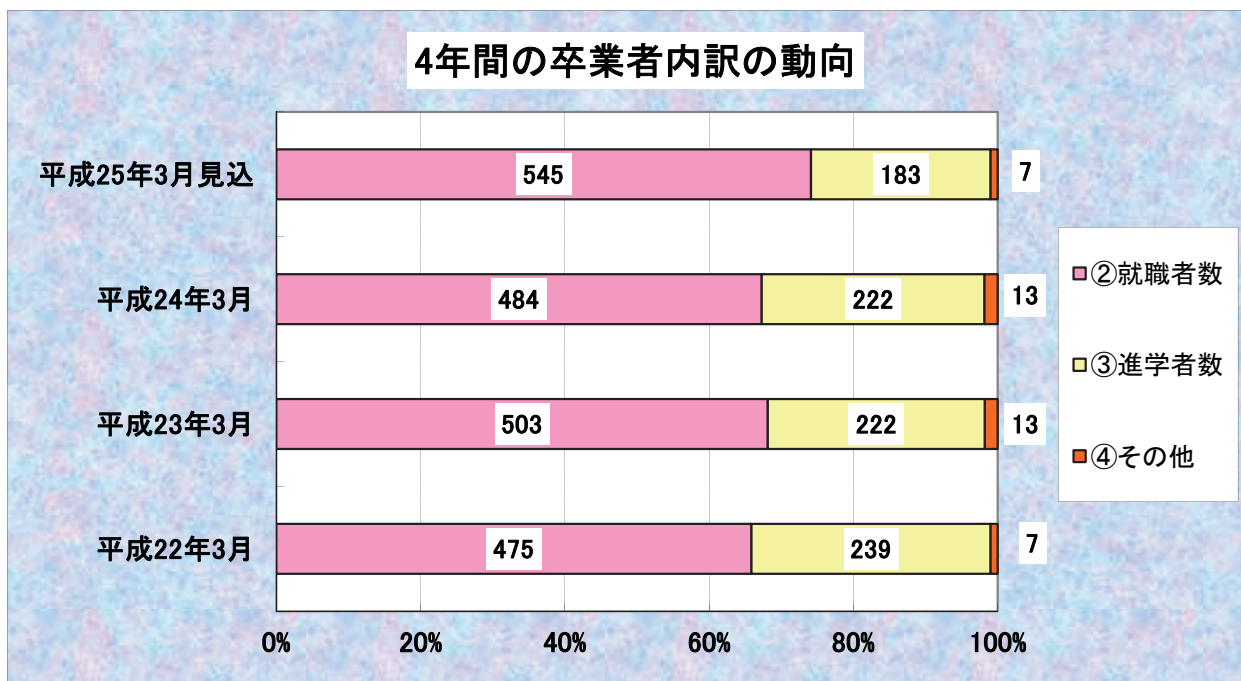


平成24年度 進路状況調査 集計表  
(愛知県内 建設系高校生)

1. 卒業者の進路状況

|           | 平成22年3月 | 平成23年3月 | 平成24年3月 | 平成25年3月見込 | 過去3ヵ年構成割合 |
|-----------|---------|---------|---------|-----------|-----------|
| ① 卒業 者 数  | 733     | 740     | 721     | 768       | 100.00%   |
| ② 就 職 者 数 | 475     | 503     | 484     | 545       | 488       |
| 就職者数(%)   | 64.80%  | 67.97%  | 67.13%  | 70.96%    | 66.64%    |
| ③ 進 学 者 数 | 239     | 222     | 222     | 183       | 228       |
| 進学者数(%)   | 32.61%  | 30.00%  | 30.79%  | 23.83%    | 31.13%    |
| ④ そ の 他   | 7       | 13      | 13      | 7         | 11        |
| その他(%)    | 1.47%   | 2.58%   | 2.69%   | 1.28%     | 1.50%     |



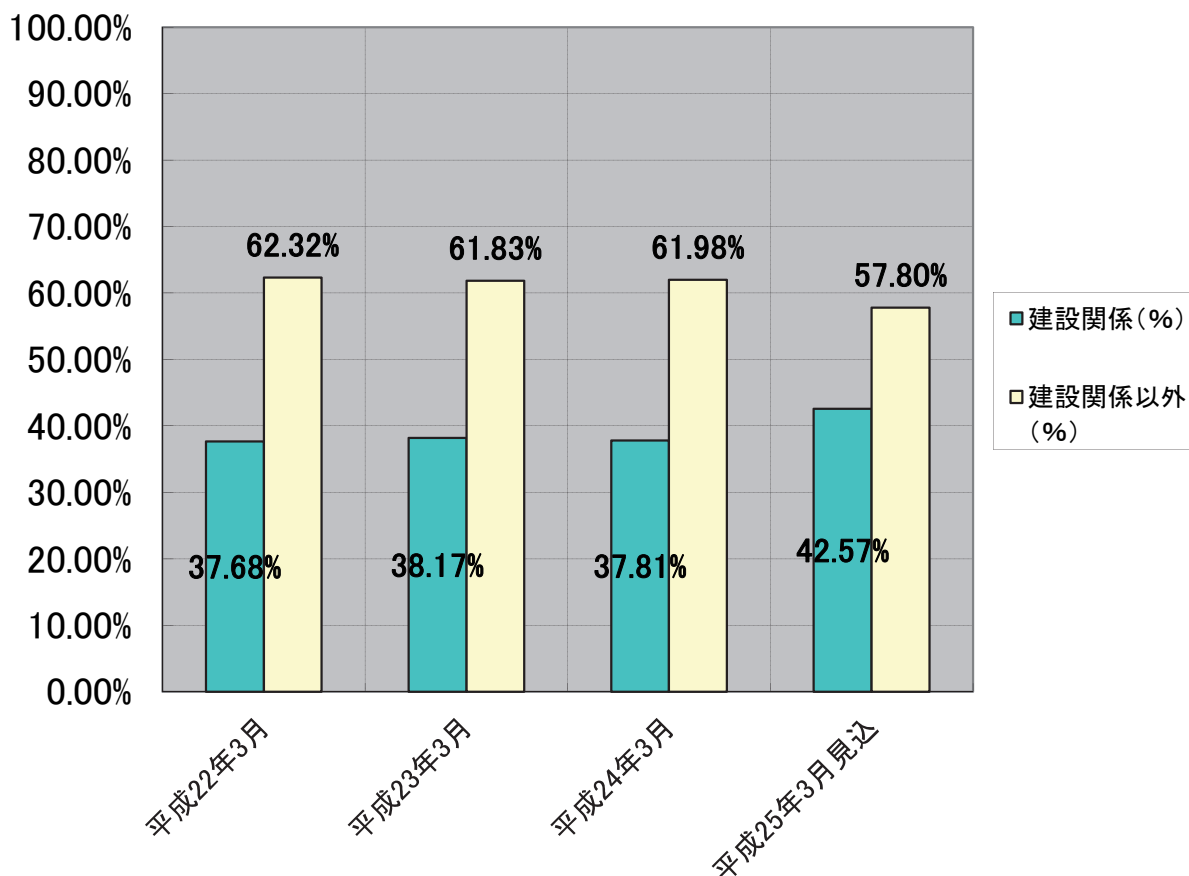
平成24年度 進路状況調査 集計表  
(愛知県内 建設系高校生)

2. 1の②の就職先

|           | 平成22年3月 | 平成23年3月 | 平成24年3月 | 平成25年3月見込 | 過去3ヵ年構成割合 |
|-----------|---------|---------|---------|-----------|-----------|
| 建設関係      | 179     | 192     | 183     | 232       | 185       |
| 建設関係(%)   | 37.68%  | 38.17%  | 37.81%  | 42.57%    | 37.89%    |
| 建設関係以外    | 296     | 311     | 300     | 315       | 302       |
| 建設関係以外(%) | 62.32%  | 61.83%  | 61.98%  | 57.80%    | 62.04%    |

|               |       |                 |     |
|---------------|-------|-----------------|-----|
| 過去3ヵ年の卒業生数    | 2,194 | 過去3ヵ年の進学者数      | 683 |
| 過去3ヵ年の就職者数    | 1,462 | 過去3ヵ年のその他数      | 33  |
| 過去3ヵ年の建設関係に就職 | 554   | 過去3ヵ年の建設関係以外に就職 | 907 |

4年間の就職者の動向



平成24年度 進路状況調査 集計表  
(愛知県内 建設系高校生)

3. 平成24年3月卒業者の求人・求職に関するコメント

- ・平成22年・23年の卒業生に比べて建設業への興味・関心の高い生徒が多く、ほとんどが希望していた職種につくことができる中、一部生徒は第一希望へと進むことができなかった。
- ・求人に関しては学校全体として企業数・求人数共に増加、それに伴い建設業も増加することができた。
- ・増加傾向にあった建設関係への就職者数であったが、今年度は製造業へ進む生徒が増加した。
- ・大手企業に女子生徒がチャレンジしたが落ちてしまった。女子生徒への対応を留意したい。
- ・ここ数年で、最も建設関係への求職者が多い学年であった。幸いにして、地元を中心とした求人数が確保できたため、生徒達の希望する進路が選択することができた。
- ・学力の低い生徒もいますが、まじめな生徒もいますので、何とか就職させたいと思います。
- ・大工職、鉄筋業、左官業、型枠大工、板金工事業、足場とび、鉄骨加工業などの職人を目指す生徒が増えてきております。ゼネコン希望者は毎年、1～3人程度で、定着率も良くありません。
- ・自分の将来についてしっかりと向き合っている生徒は少なく、この時期からやっと考え始める生徒が多い。そのため、興味関心や本人の適正などに関係なく大手企業を希望してしまう傾向になる。また、求人票についても7月1日解禁となりますが建設業の求人は遅く、学校の希望提出締め切り間に合わないこともありますので、求人票をできる限り早く出していただけるようにお願いします。
- ・東三河地区の求人が少なく、建設業関係以外の就職や専門学校へ進路変更した生徒が多くなり残念でした。
- ・建設関係の求人が少ない。大工(木造)業、特に西三河地区の求人が頂きたい。
- ・鳶、型枠大工、鉄筋工を希望する生徒もいる。
- ・例年通り建設業への従事は数人でした。
- ・建設関係の求人は少ない。(県内求人190人中3人)
- ・卒業後のミスマッチを防ぐためにも現場就業体験をする機会があると良いと考える。
- ・女子の求人が厳しいと考えます。例年、生徒が気張らないと大勢の女子生徒が職に就けない可能性があります。
- ・自動車関係を中心として製造業を希望する生徒が多い。
- ・昨年度は就職希望者が少なく、今年度の求人数が心配される。

## 平成24年度 進路状況調査 集計表 (愛知県内 建設系高校生)

### 4. 建設業界に対する今後の要望事項

- ・企業の人事担当と本校職員との会話の報告を聞くと「即戦力が欲しい」との声が多くある。  
現在の建設業を考えると正論だが、その中で若い人材に目を向けて採用できるようにしていただきたい。
- ・求人票の中で全学科からの採用を望む企業が以前より増したように感じられる。工業高校程度の学習なら幅広い中から人材を選別したいのだと自己解釈をしているが、機械・電気の求人数が減少した場合、建設系学科の生徒にも影響が出るため、なるべく多くの企業に「学科指定」を望みたい。
- ・ご支援本当にありがとうございます。生徒はこれからの経験をきっかけに建設業への興味を深め、どの業種も厳しい状況下で、建設業を選択します。業界の負担は量り知れませんが、今後ともご支援よろしく願いいたします。厳しいと思いますが、若年者雇用の門戸を開け続けていただきたい。
- ・高校への様々な協力に感謝しております。
- ・本年度も引き続き建設関係への求職者が多いのが実態としてある。しかしながら、最近の建設業界を取り巻く経済環境もあり求人数不足が心配される。業界には、大卒ばかりでなく若年者への求人を是非お願いしたい。
- ・小、中学生に対しての建設業界のアピール
- ・沢山の職種がありますが、生徒が仕事の内容を理解しているのはほんの一握り。職種の内容を知ってもらう機会を増やしていけば良いかと。
- ・業界の景気が回復し、生徒の雇用機会が多くなる事を期待しています。そして、さまざまな職人関係の求人が増える事を期待します。
- ・職人や監督を含めた現場員の待遇改善が必要かと思います。
- ・漠然とした意見で申し訳ありませんが、求人数の増加を願います。
- ・仕事内容や建設業の魅力を業界全体で打ち出して欲しい。
- ・もう少し早い時期に求人が頂けるとありがたいです。
- ・建設関係に就職を希望する生徒に対して、窓口を設けていただきたい。
- ・建設業界は多くの生徒に希望がでるという分野ではないが、毎年数人の生徒が希望する分野なので採用がゼロという年があると残念である。
- ・求人が少ないのもっと頂きたいと思います。
- ・現場見学会はとても良い機会であるため、今後も継続していただきたい。
- ・建設業からの求人数が増え、生徒が選べるようになればと思います。

平成24年度 進路状況調査 集計表  
(愛知県内 建設系高校生)

5. その他

- ・学校教育では、知ることのできない社会を、見させていただける経験が、なによりも生きた教育と  
なっています。学校で基礎・基本の力をつけて豊かな人間性をもって、社会に出られることが望ましいと  
考えますが、学校は狭い世界なので、連携していただくことが非常な効果となっています。
- ・ご迷惑をおかけすることばかりですが、よろしく願いいたします。
- ・愛知県建設業協会の工業高校に対するご支援にいつも感謝いたしております。いつまでも  
良好な関係が続き、生徒達に貴重な経験をさせてやりたいと思っております。今後ともご支援を宜しく  
お願いします。
- ・関係学科の数字の未記入。平成22年度卒業生までは農業工学科、平成23年度卒業生からは  
環境デザイン科に学科変更。(土木と造園1/2ずつ)
- ・就業後に現場で必要な資格(小型車両系建設機械、玉かけ、溶接、測量士補など)があればお知らせ  
いただけると在学中に取得可能なものは受験指導します。
- ・建設業の良いところを伝えながら授業しているが、なかなか進路に結びつかない現状です。